

Excel で表やグラフを作ろう

Excel って何ができるの？

✓ 複雑な計算やグラフ作成が思いのまま

エクセルは表を作成して計算したり、グラフを作ったりできる表計算ソフトです。統計資料は、レポートや発表で主張を支える根拠として使えますが、グラフにするとより効果的に示すことができます。

□ Excel 2013 の画面

都道府県	大学数	人口	近畿の全人口に占める割合	人口100万人あたりの大学数
滋賀	8	1,416,000	7%	5.6
京都	33	2,617,000	13%	12.6
大阪	56	8,849,000	43%	6.3
兵庫	41	5,558,000	27%	7.4
奈良	11	1,383,000	7%	8.0
和歌山	3	979,000	5%	3.1
合計	152	20,802,000		

セル: 文字, 数字, 計算式を入力するマス目

実際に使ってみよう

✓ 文字と数値を入力する

近畿二府四県の大学数を入力してみましょう。

セル番地: 今, 入力対象になっているセルの場所。B7は「B列の7行目」を表します。

1つのセルに1つずつデータを入力していきます。

文部科学省編 (2013)「都道府県別学校数及び学生数」『学校基本調査 (平成25年度)』より

✓ 数値を合計しよう

①マウスをドラッグして合計したい数値を選択します。

②数式 **Σ** クリック

③オートSUM **Σ** クリック

▶関数
Excelには、合計値や平均値を計算してくれる「関数」が用意されています。「SUM関数」は合計値を出すための関数で、オートSUMを利用すれば簡単に入力できます。

合計されました。B8のセルには合計値の「152」ではなく「=SUM(B2:B7)」という計算式が入っています。これは「B2からB7のセルの値を合計しなさい」という意味で、あとでセルの値を変えても再計算してくれます。